

整理番号 S-108

出展 織物欠点解析事例集(第3集)

欠点名 たて縞(張力斑)

品名 ツイル(人工皮革用基布)

試料形態 織物

組織 綾

糸使い

たて糸:ポリエステル 245d 無撚糸

よこ糸:ポリエステル 245d 無撚糸

欠点発生状況

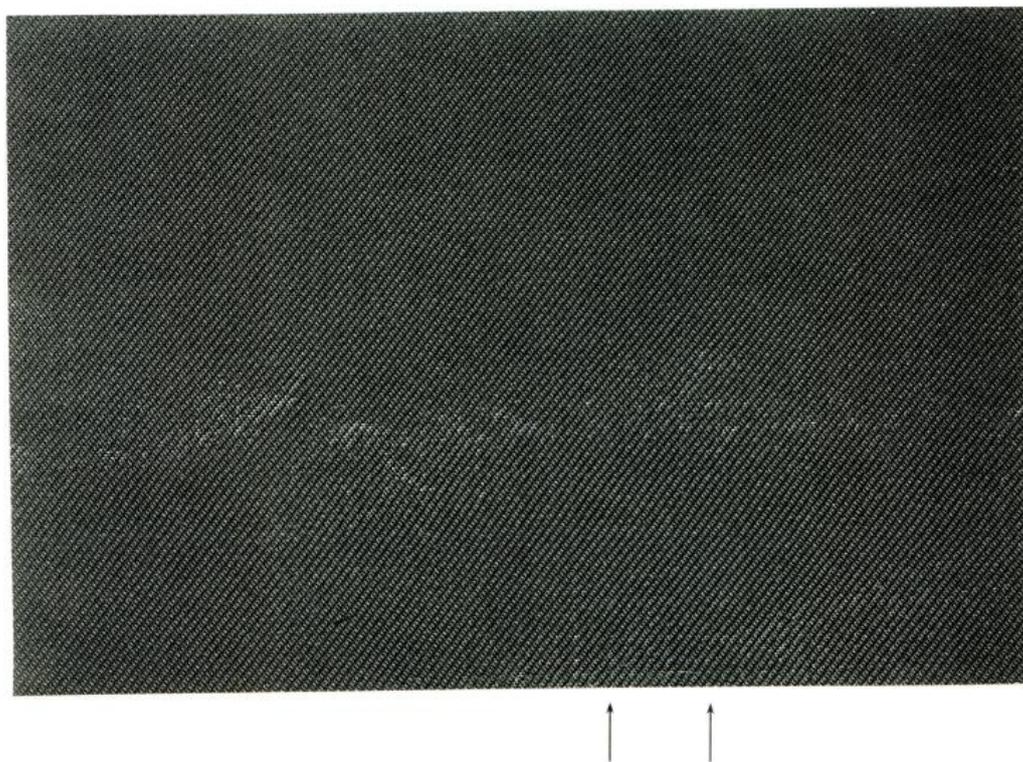
全幅にわたり、ほぼ同一ピッチで発現している。サイジング1ロット全数C反。生機で欠点は発現していない。

工程

たて:原糸パーン—ビーミング—サイジング—巻返し—WJL

よこ:原糸パーン—————|

試料写真

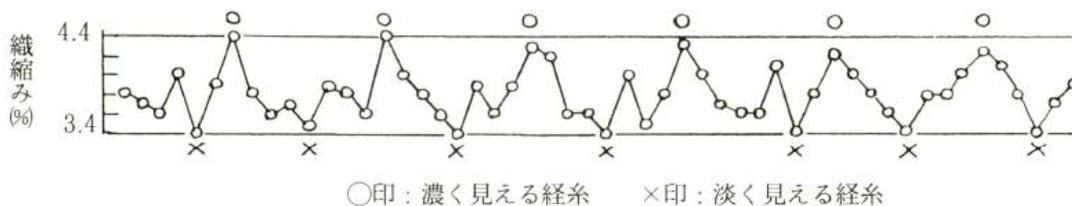


試験結果

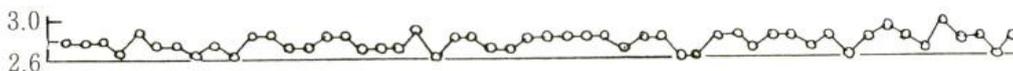
(1)織縮み率測定

- ・生機の織縮み率のバラツキが 0.4%であるのに比較して、加工上り生地では 1.0%に増大している。
また、8 本周期で、織縮み率の大きいものと小さいものがあった。

〔加工上り〕



〔生機〕



〔両者とも原長 500mm、加重30gf、配列順に52本測定〕

(2)熱応力測定

- ・生機のたて糸について、糸間にバラツキがあった。

所見

本欠点は、サイジング後ヤーンビームに巻返すとき、ビームスタンドに仕掛けた8本ビーム中に、低張力の糸と高張力の糸が混在したことにより、仕上げ加工時における熱収縮にバラツキが発生したためである。熱応力のバラツキは、巻返し工程のビーム8本の張力が均一でなかったことに起因すると考えられる。